LIXIL
SHINNIKKEI

施工説明書番号 ME-1782
改－4

ファインステージⅡ デッキフェンス扉 施工説明書

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項　施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱置位置決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意
●本商品は、樹脂材を使用していますので、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が割れ、または破損する恐れがあります。
●外開きタイプでは、開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
●施工後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

使用上のご注意について

●通常使用しない場合には、必ず施錠してください。
●開閉時には、手足や衣服などを挟まないように注意してください。
●扉に物を載せないでください。
●扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
●デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
●樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

○洗浄方法：中性洗剤を所定の割合で水で希釈し、布巾などで部材の長手方向に擦るように拭き、最後に水で洗剤をきれいに洗い流してください。（※月に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは､状況によりお手入れの回数を増やしてください。）

○汚れキズ等の補修：まず、表面の汚れを雑巾などで拭き取ってください。その後、汚れキズ部分をサンドペーパー（#40 ～ 60）を長手方向に擦り、汚れキズを取り除いてください。最後に表面の削り粉を清掃してください。

もくじ

梱包明細 2
扉の種類 2
納まり図 3
１．柱の設置 4
　１－１扉吊元柱をコーナーに立てる場合 4
　１－２扉吊元柱部品の取付け 4
　１－３柱の設置 5
　１－４パネルの取付け（※デッキフェンス本体） 5
２．扉の組立て（※横格子タイプのみ） 7
　２－１施工前の確認 7
　２－２扉枠の組立て 7
　２－３格子の取付け 8
　２－４扉の組立て 8
３．扉部品の取付け 10
　３－１勝手・開きの確認 10
　３－２蝶番の取付け 10
４．扉の吊り込みと錠の取付け 11
　４－１扉の吊り込み 11
　４－２内掛錠・南京錠受けの取付け 11
５．吊り込み後の作業 12
　５－１単独柱キャップの取付け（※扉単独納まりの場合） 12
施工工事店様、販売店様へのお願い 12

「ファインステージⅡ」の施工説明書 [ME-1778] を合わせて参照してください。

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●施工説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

表内の（　）は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容
デッキフェンス扉（木質調格子タイプ）	1 型・2 型・3 型	扉本体（1）
デッキフェンス扉（横格子タイプ）	横格子扉枠	通し笠木 [扉用]（1）・下框 [扉用]（1）・縦框 [扉用]（2）・横格子取付アタッチメント（2） 横格子セット部品 [扉枠用]（1）
	扉用格子	格子 [樹脂またはアルミ]（2）・横格子セット部品 [格子用]（1）
デッキ用扉吊元柱		扉吊元柱（1）・吊元門柱部品セット（1）
単独納まり用柱キャップ（オプション）		単独柱キャップ（1）・φ 4 × 60 皿タッピン 2 種ガイド付（4）・φ 5 × 8 トラスタッピン 1 種（6）・M5 用平座金（6）

●セット部品内容

表内の（　）は個数を表しています。

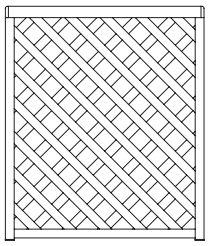
梱包名称		梱包内容
吊元門柱部品セット		柱固定ブラケット（1）・φ 4 × 45 皿タッピン 2 種（4） φ 4 × 19 セルフドリリングビス（8）・M6 × 90 六角セルフドリリングビス（6）
		蝶番（2）・丁番取付ブラケット（2）・丁番取付ブラケット（扉用）（2） φ 4 × 19 細目皿セルフドリリングビス（44）・蝶番ブラケット B（2）
		内掛錠（1）・内掛錠台座（1）・φ 4 × 30 皿セルフドリリングビス（4） 南京錠受け（1）・南京錠受け扉側（1）・φ 4 × 19 セルフドリリングビス（4） φ 4 × 16 セルフドリリングビス（12）・M4 用平座金（12）
		上下胴縁取付金具（3）・φ 4 × 19 セルフドリリングビス（4） φ 5 × 12 皿タッピン 3 種（1）・φ 4 × 20 ナベタッピン 1 種（2）
		扉用笠木キャップ（2）・φ 4 × 25 セルフドリリングビス（4）・φ 4 × 14 皿タッピン 3 種（4）
		φ 5 × 8 トラスタッピン 1 種（4）・M5 用平座金（4）
		施工説明書 [ME-1782]（1）
横格子セット部品（横格子タイプ）	扉枠用	φ 4 × 60 ナベタッピン 2 種ガイド付（8） フェンス上下桟取付金具（4）・φ 4 × 19 セルフドリリングビス（8）・φ 4 × 20 ナベタッピン 1 種（4） φ 5 × 15 トラスタッピン 3 種（2）・φ 5 × 30 トラスタッピン 3 種（2）・φ 4 × 30 セルフドリリングビス（6）
	格子用	φ 4 × 20 ナベタッピン 2 種ガイド付（8）・M4 用平座金（8）

扉の種類

●扉のデザインには、木質調の「木質調格子タイプ」と、木質調とアルミ材の「横格子タイプ」があります。
●「横格子タイプ」の場合は、現場での扉の組立てが必要です。（※「2. 扉の組立て」を参照）

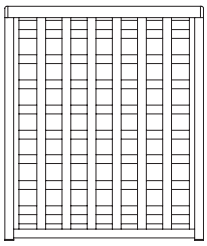
木質調格子タイプ

● 1 型（密ラチス）



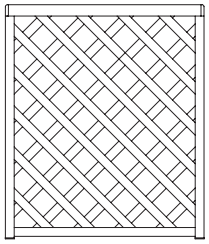
ME1782-015-01

● 2 型（いげた）



ME1782-016-01

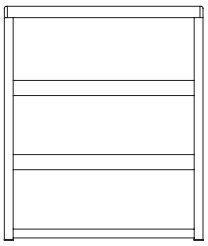
● 3 型（ラチス）



ME1782-017-01

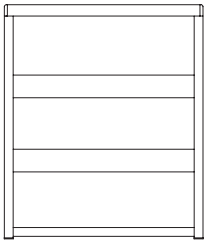
横格子タイプ

●横格子（樹脂）



ME1782-018-01

●横格子（アルミ）



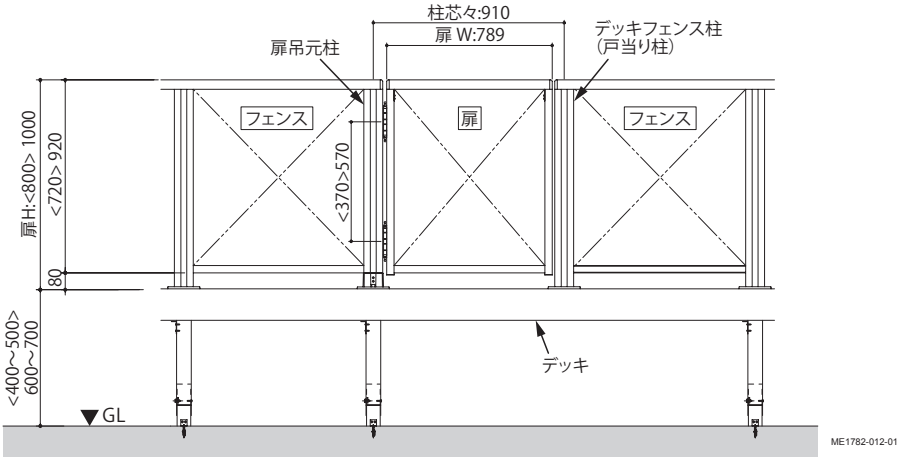
ME1782-019-01

納まり図

●「木質調格子タイプ」は出荷時に扉が組立てられています。
●「横格子タイプ」の場合は、現場での扉の組立てが必要です。（※「2. 扉の組立て」を参照）

基本納まり図

※本図は､「デッキフェンス H1000」+「デッキフェンス扉 H1000」を納めた場合を示しています。
※ <　> 内寸法は、H800 の場合を示しています。

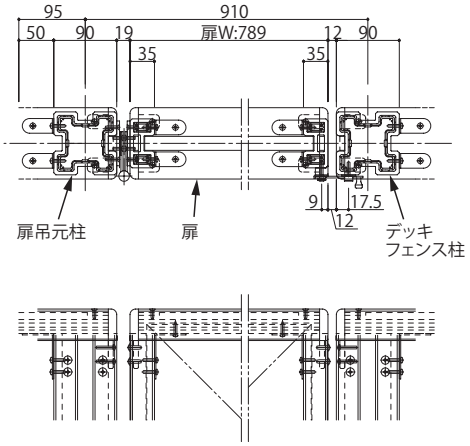


戸当り柱には、標準のデッキフェンス柱を使用してください。
※コーナー自在柱を戸当り柱として使用することはできません。

デッキに階段を取付ける場合は、扉を「内開き」にしてください。

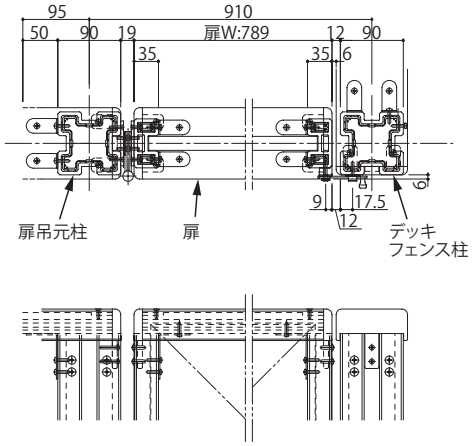
柱・フェンスの取付けの詳細については、「ファインステージⅡ」の施工説明書 [ME-1778] を参照してください。

●フェンス直線納まり



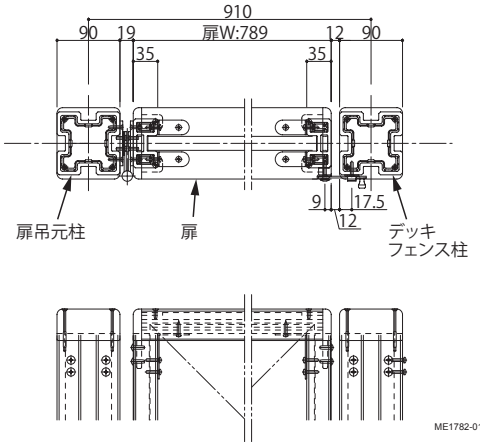
●フェンス 90°納まり

※内掛錠は内側には取付けられません。



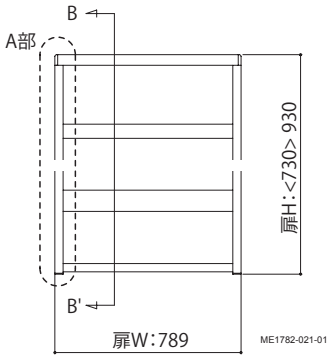
●単独納まり

※単独納まり用柱キャップ（オプション）を使用してください。

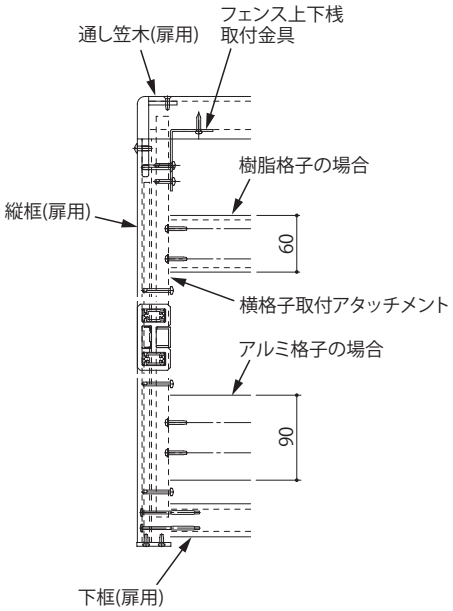


横格子タイプ扉詳細図

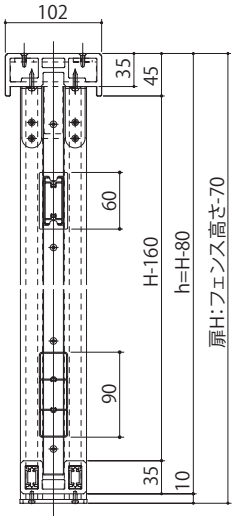
※本図は、H1000 を示しています。
※ <　> 内寸法は、H800 の場合を示しています。



● A 部詳細図



● B － B' 矢視図



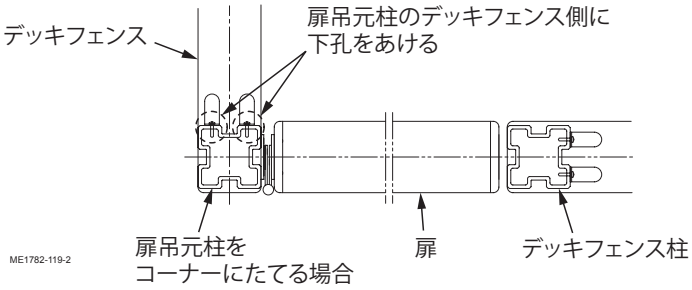
1 柱の設置

●「ファインステージⅡ」の施工説明書 [ME-1778] の「5. デッキフェンスの取付け」を合わせて参照してください。

1－1 扉吊元柱をコーナーに立てる場合

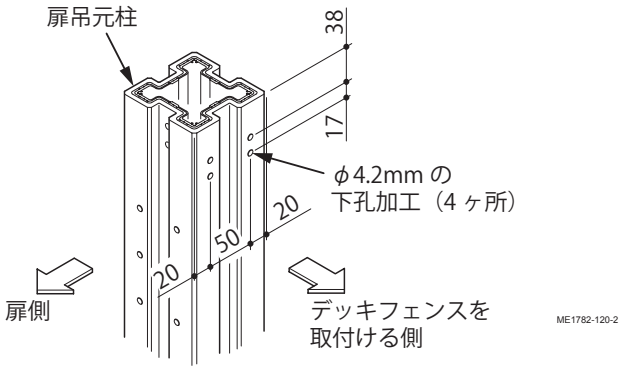
①扉吊元柱をコーナーに立てる場合は、フェンス側となる柱面に、下孔加工を行ってください。

●下孔加工の位置



扉吊元柱をコーナーに立てる場合は、扉を「外開き」にしてください。
※「内開き」にすると、納まりによっては扉を完全に（90°）開くことができない場合があります。

●扉吊元柱をコーナーにたてる場合のみ

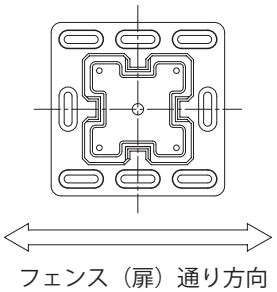


1－2 扉吊元柱部品の取付け

①扉吊元柱のアルミ部を柱固定ブラケットに取付けてください。

柱取付ブラケットのルーズ孔の方向を、フェンス (扉) 通り方向に下記の通り合わせてください。

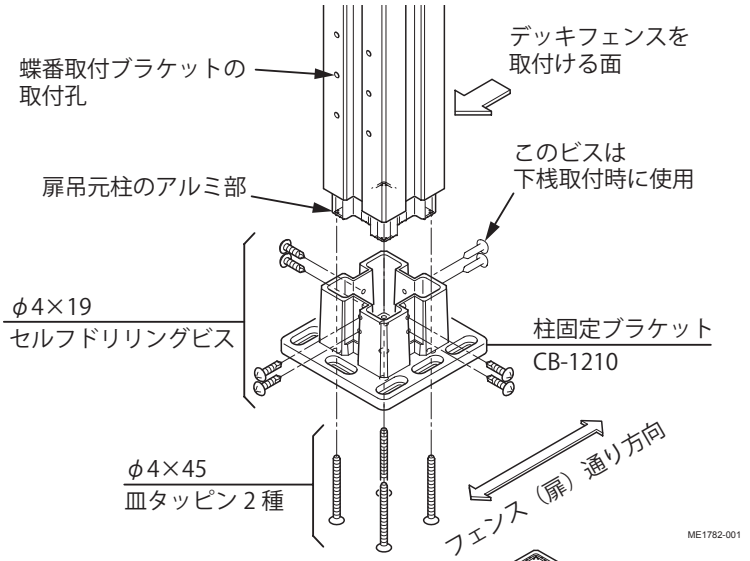
●柱取付ブラケットの方向

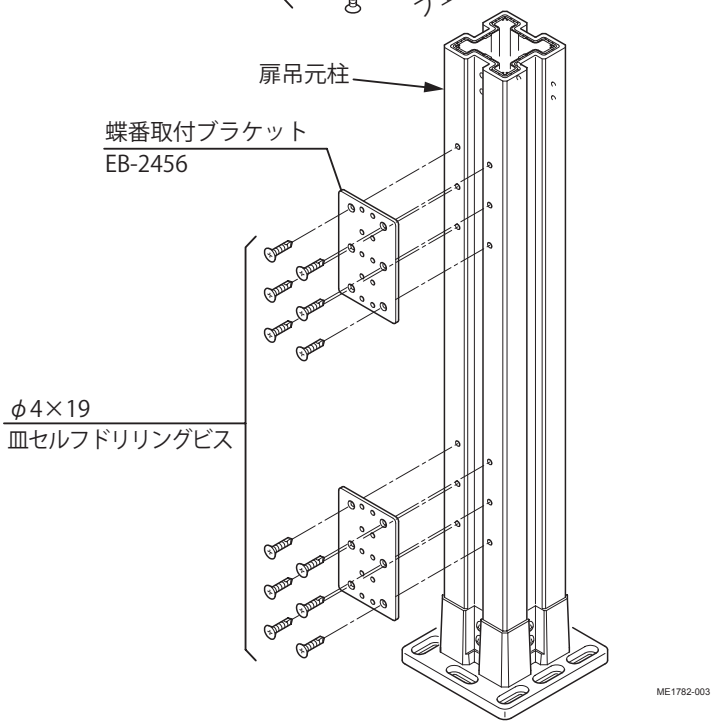


②扉吊元柱の側面と柱固定ブラケットをセルフドリリングビスで固定してください。

フェンスを連結する面には、ビス止めしないでください。
※後で、下桟を取付けるときにビス止めします。

③扉吊元柱の扉側となる面には、加工孔に合わせて、丁番取付ブラケットを取付けてください。





1－3 柱の設置

戸当り側には標準のデッキフェンス柱を使用します。

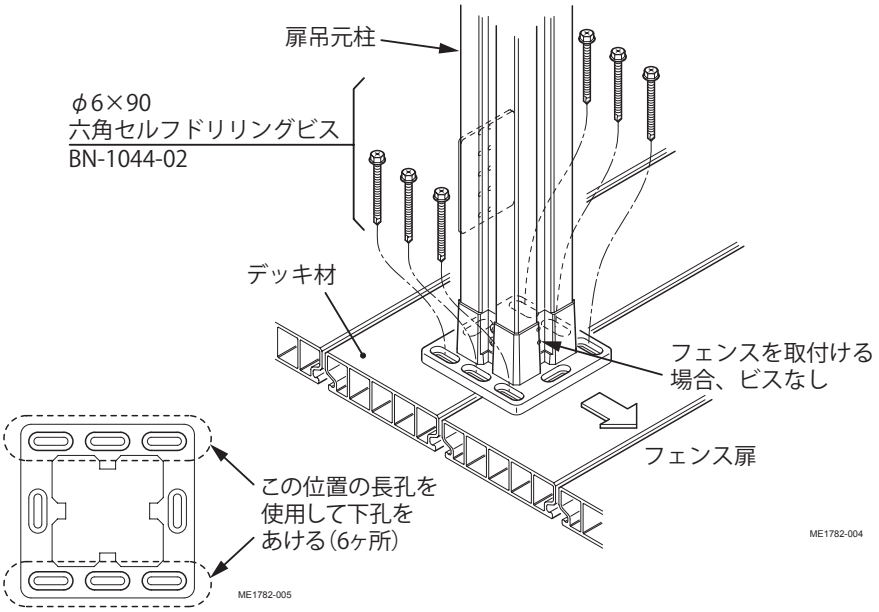
①「納まり図」を参照して、扉吊元柱とデッキフェンス柱の設置位置を確認してください。

②扉吊元柱とデッキフェンス柱をデッキ材に取付けてください。（※大引、床下補強材または床下補強アングルの上に取付けてください。）

③デッキフェンス柱のみに、ベースプレートカバーを取付けてください。

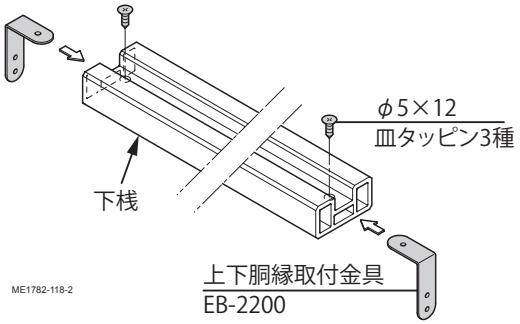
扉吊元柱には、ベースプレートカバーを取付けないでください。
※ベースプレートカバーを取付けることはできません。

柱の取付けの詳細については、[ME-1778] を参照してください。



1－4 パネルの取付け（※デッキフェンス本体）

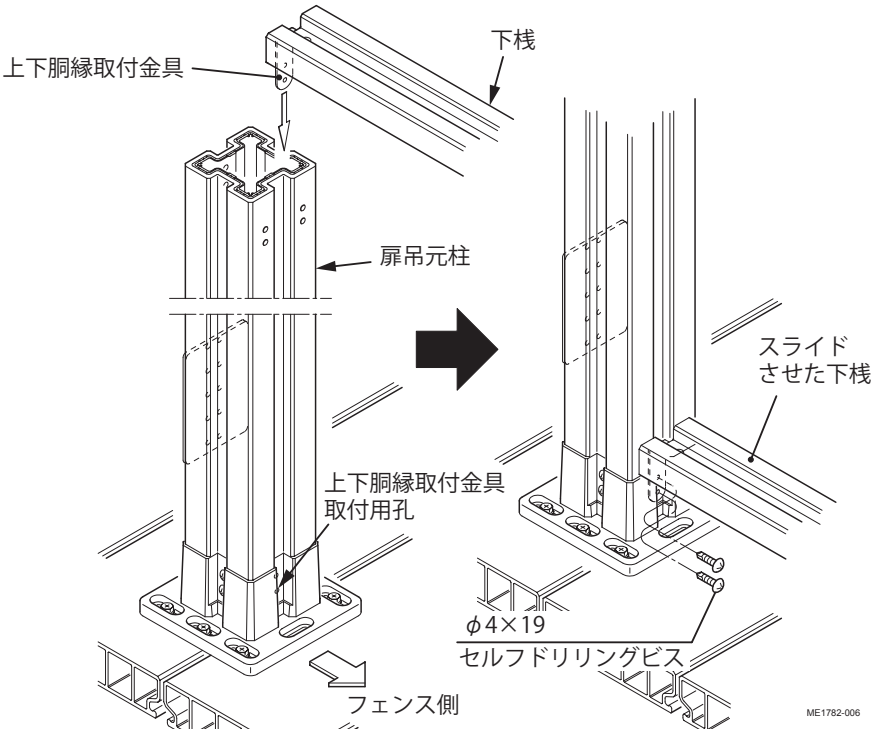
①下桟に上下胴縁取付金具を取付けてください。

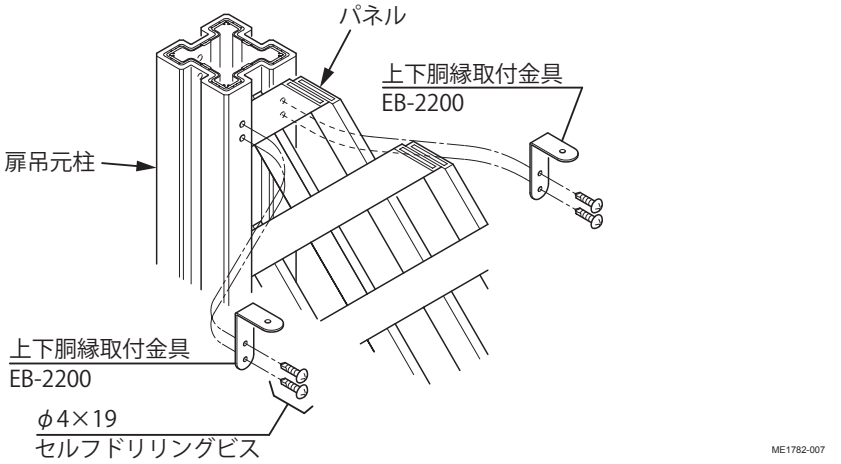


②下桟を柱にスライドさせて挿入し、ビスで取付けてください。

③上下胴縁取付金具を柱に取付けてください。

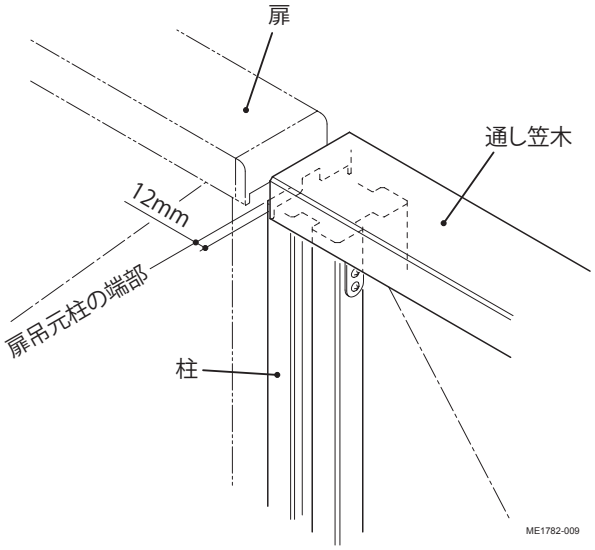
ビスを締付け過ぎないようにしてください。
※締付け過ぎると、柱（樹脂材）が破損する原因になります。



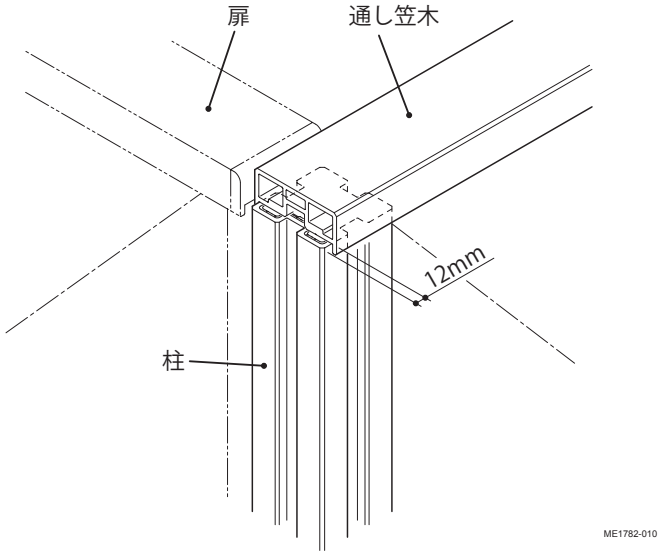


④通し笠木の扉側を、門柱の端部から
12mm の位置で切詰めてください。

●直線部の場合



● 90° コーナー部の場合

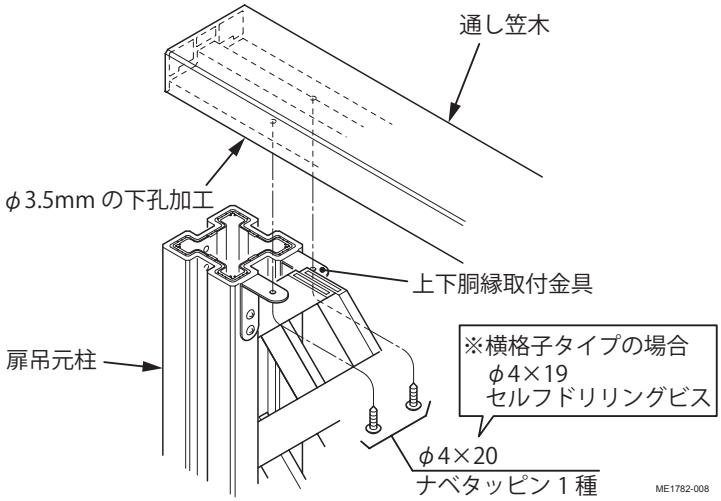


横格子タイプの場合は、通し笠木の中に入っているアルミ補強材を、笠木小口から 40mm 切詰めてください。
補強材はビス止めされています。

⑤通し笠木を柱に取付けてください。

通し笠木を柱の上に置いて、位置合わせ後、φ 3.5mm の下孔をあけてください。

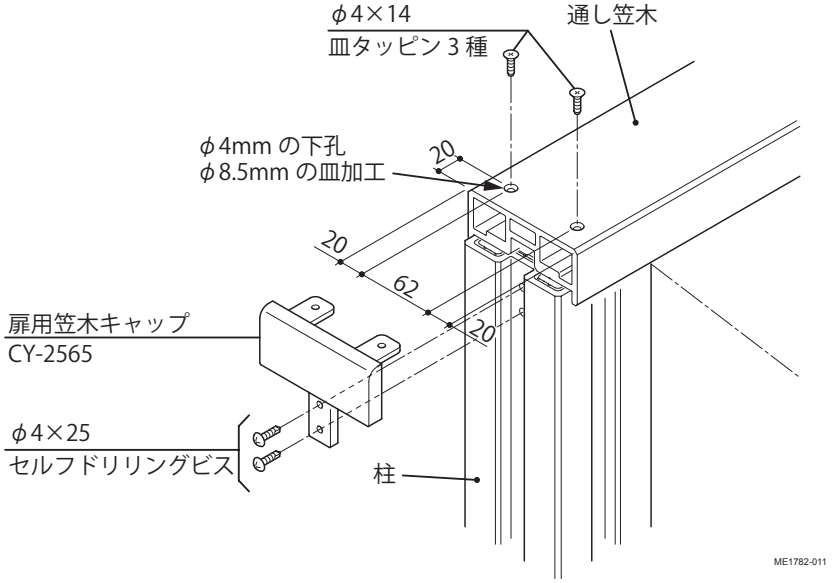
横格子タイプの場合は、通し笠木に同梱されているφ 4 × 19 セルフドリリングビスを使用してください。



⑥切詰め後の通し笠木にφ 4mm の下孔を
2 ヶ所あけ、φ 8.5mm の皿モミ加工を行ってください。

⑦扉用笠木キャップを取付けてください。

90° コーナー納まりの場合、90° コーナーキャップは使用できません。



2 扉の組立て（※横格子タイプのみ）

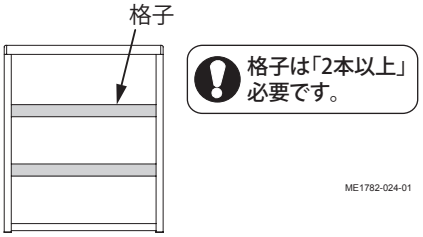
●「木質調格子タイプ」の場合は、扉は組立てられているので作業不要です。「3. 扉部品の取付け」へ進んでください。

2－1 施工前の確認

●格子は下記の本数を取付けることができます。
●格子は扉高さ・格子の種類に関わらず、必ず「2 本以上」を取付けてください。
※「2 本以上」でないと、扉の強度を確保することができません。

＜格子の本数＞

格子の種類	H800	H1000
樹脂タイプ	2～5 本	2～7 本
アルミ	2～4 本	2～5 本

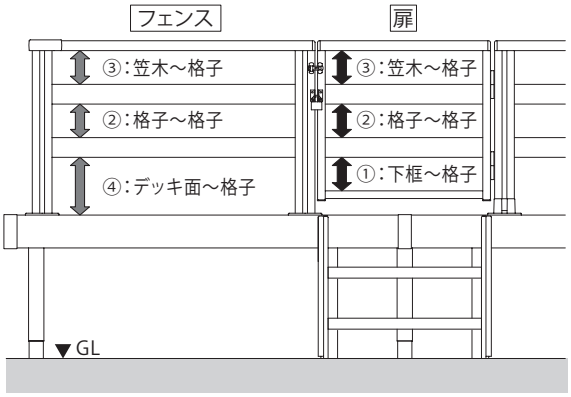


●格子は任意のピッチで取付けることができます。ただし、後からアタッチメント固定ビスを打てるスペースを残し、格子の位置を決めてください。
※アタッチメント固定ビスを打ち込むスペースについては次ページを参照してください。

※右図および下表は、格子 2 本を均等に配置する場合の寸法例です。

＜格子取付位置例＞

格子の種類		格子高さ	①	②	③	④
樹脂タイプ	H800	60	173	173	174	288
	H1000	60	240	240	240	355
アルミ	H800	90	153	153	154	268
	H1000	90	220	220	220	335

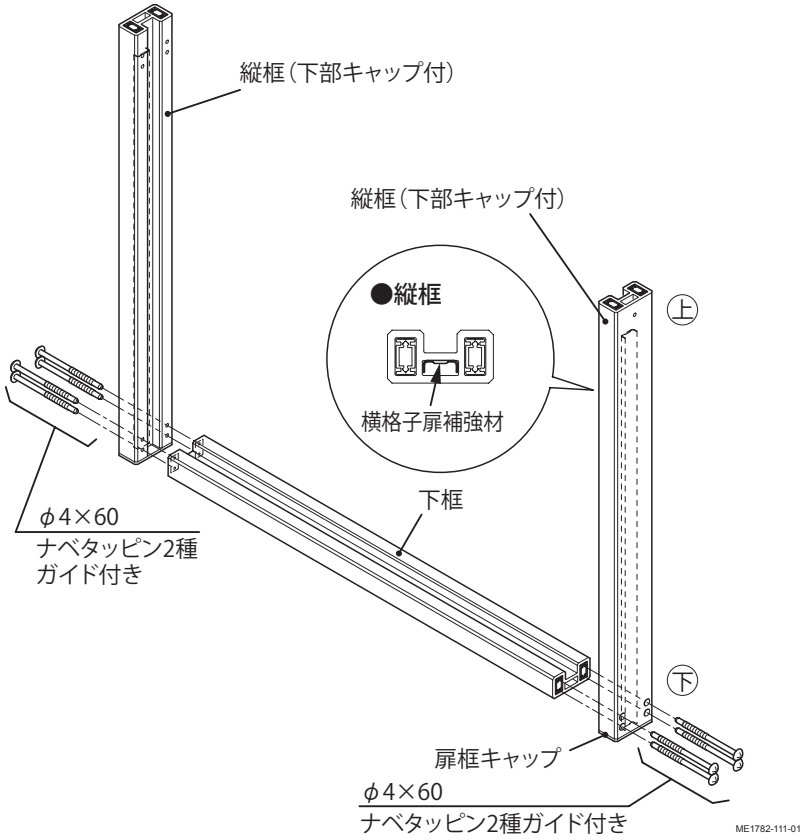


2－2 扉枠の組立て

①縦框と下框を仮組みしてください。

縦框には上・下があります。扉框キャップのある側を「下側」にしてください。

本締めは全体の調整後に行ってください。
※先に本締めすると、格子を取付けられなくなる場合があります。



2－3 格子の取付け

①格子の取付位置を決め、横格子取付アタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。
②格子を横格子取付アタッチメントに取付けてください。

格子は扉高さ・格子の種類に関わらず、必ず「2 本以上」を取付けてください。
※「2 本以上」でないと、扉の強度を確保することができません。
※下表で格子の本数を確認してください。

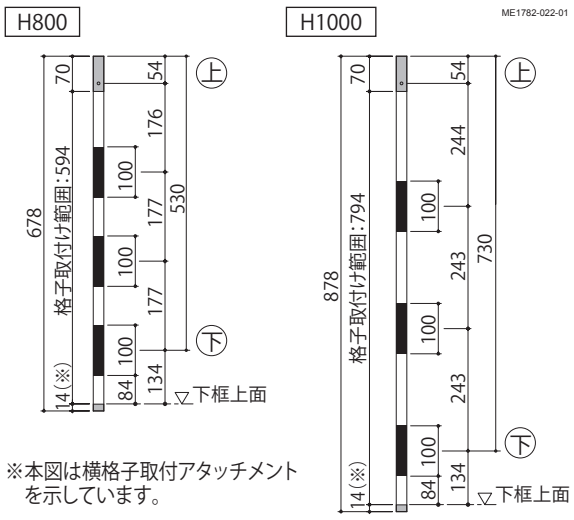
●格子の本数（※ 2 本以上必要です。）

格子の種類	H800	H1000
樹脂タイプ	2 ～ 5 本	2 ～ 7 本
アルミ	2 ～ 4 本	2 ～ 5 本

後からアタッチメント固定ビスを打てるスペースを残し、格子の位置を決めてください。
※下図で、アタッチメント固定ビスを打ち込むスペースと格子を取付けられない範囲を確認してください。
※固定ビスを打ち込むスペースに格子があってもビスを打てるスペースがあれば問題ありません。

●格子の位置・固定ビスの位置

:アタッチメント固定ビスを打ち込むスペース
:格子を取付けられない範囲
（※）:門扉枠の下框に差し込む寸法



※本図は横格子取付アタッチメントを示しています。

2－4 扉の組立て

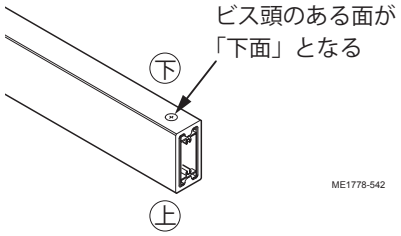
①「2-2」で組立てた格子を「2-1」で組立てた扉枠にスライドさせて挿入してください。

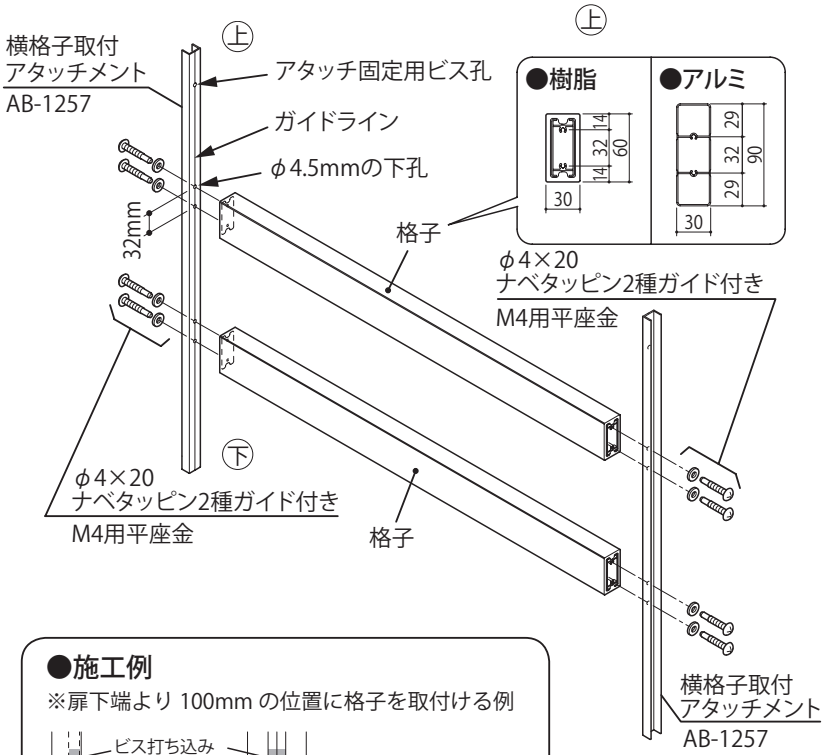
格子を完全に差し込んでください。
※格子の差し込みが不完全だと、施工不良の原因となります。

アタッチ固定用ビス孔を「上側」にしてください。

樹脂タイプの横格子には上・下があります。
※ビス頭のある面が「下面」となります。

●樹脂タイプの上・下

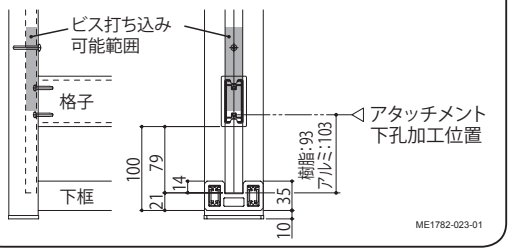


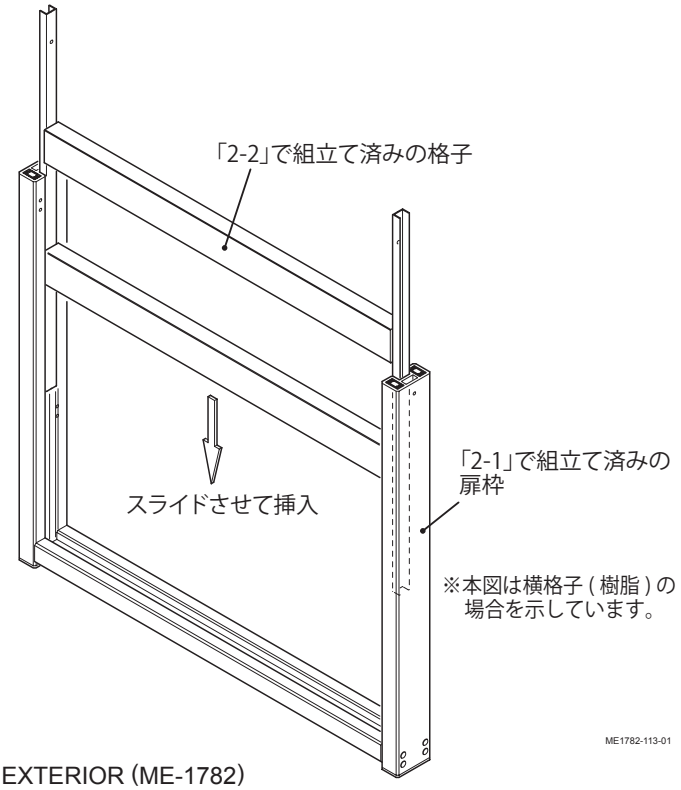


※本図は横格子 (樹脂) の場合を示しています。

ME1782-112-01

●施工例
※扉下端より 100mm の位置に格子を取付ける例





※本図は横格子 (樹脂) の場合を示しています。

②横格子取付アタッチメントが完全に差し込まれていることを確認してください。

③上下桟取付金具を扉枠に取付けてください。

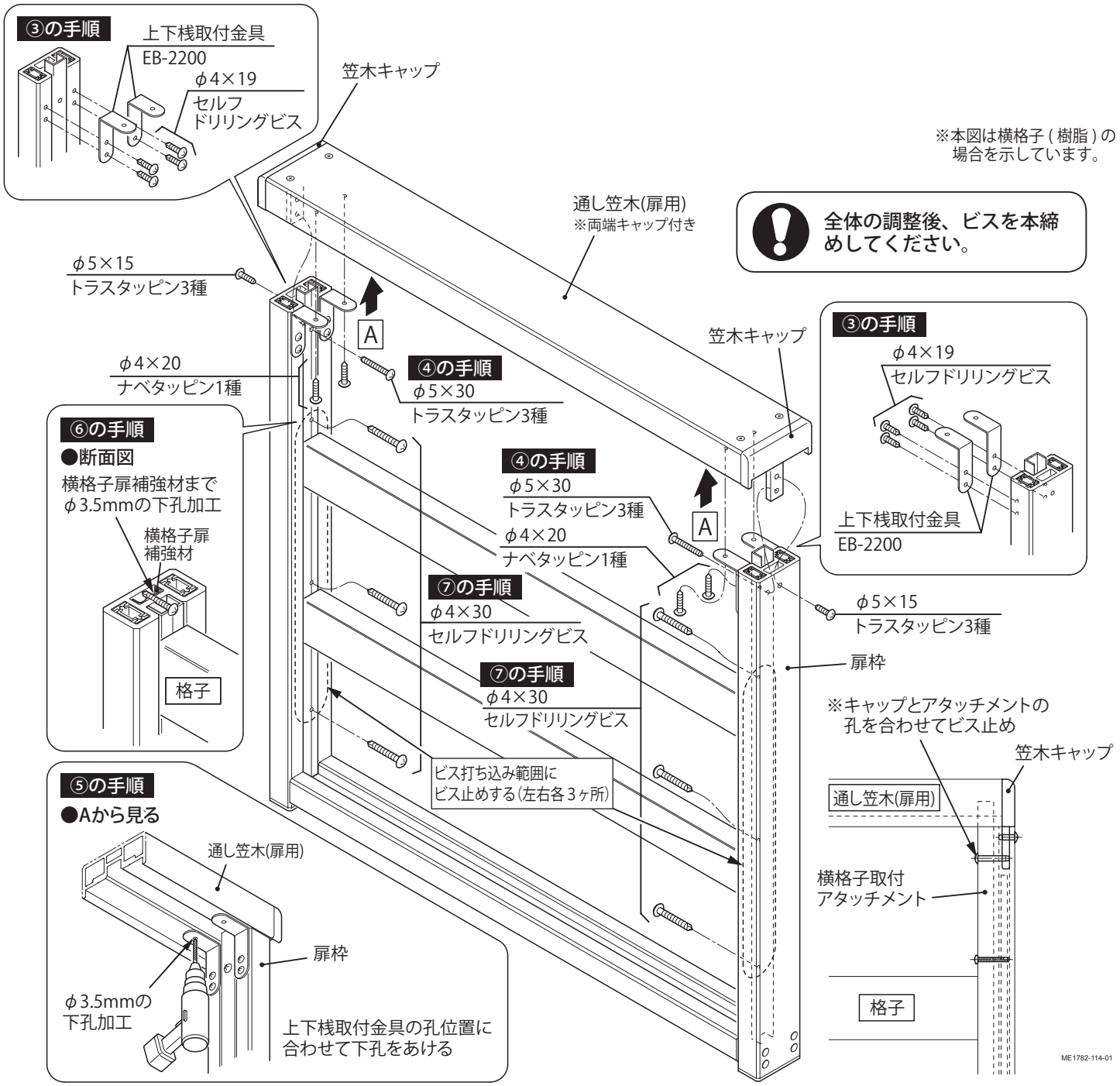
④通し笠木を扉枠の上において、笠木キャップとアタッチメントの取付孔を合わせてビスで固定してください。

⑤上下桟取付金具の孔位置に合わせて、通し笠木にφ 3.5mmの下孔をあけ、ビスで固定してください。

⑥横格子取付アタッチメントにφ 3.5mm の下孔をあけてください。

●前ページで、アタッチメント固定ビスを打ち込むスペース確認してください。
●左右各 3 ヶ所に下孔をあけてください。
●横格子扉補強材まで貫通する下孔をあけてください。

⑦横格子取付アタッチメントをビスで固定してください。



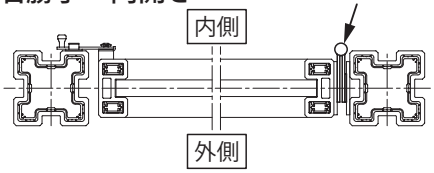
3 扉部品の取付け

●右勝手・内開きが標準仕様となります。
※イラストは、右勝手・内開きで示しています。

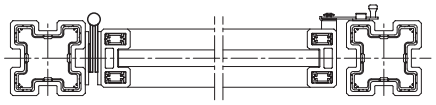
3－1 勝手・開きの確認

①扉の勝手･開きを確認してください。
②扉には表裏がありません。蝶番の取付位置・方向により、勝手・開きを変更してください。（通し笠木が上側になります。）

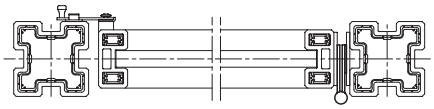
●右勝手・内開き



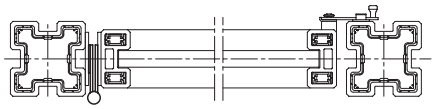
●右勝手・外開き



●左勝手・内開き



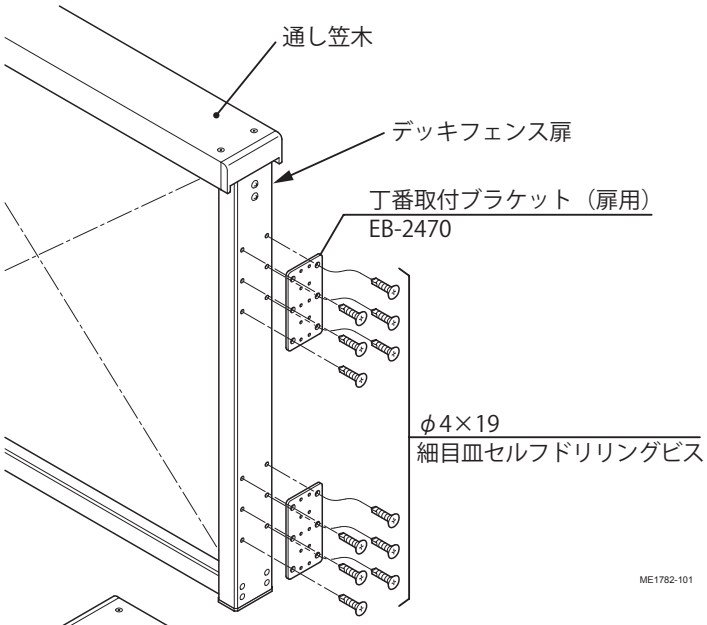
●左勝手・外開き



ME1782-104

3－2 蝶番の取付け

①扉 (吊元側) の縦框に、丁番取付ブラケット (扉用) を取付けてください。

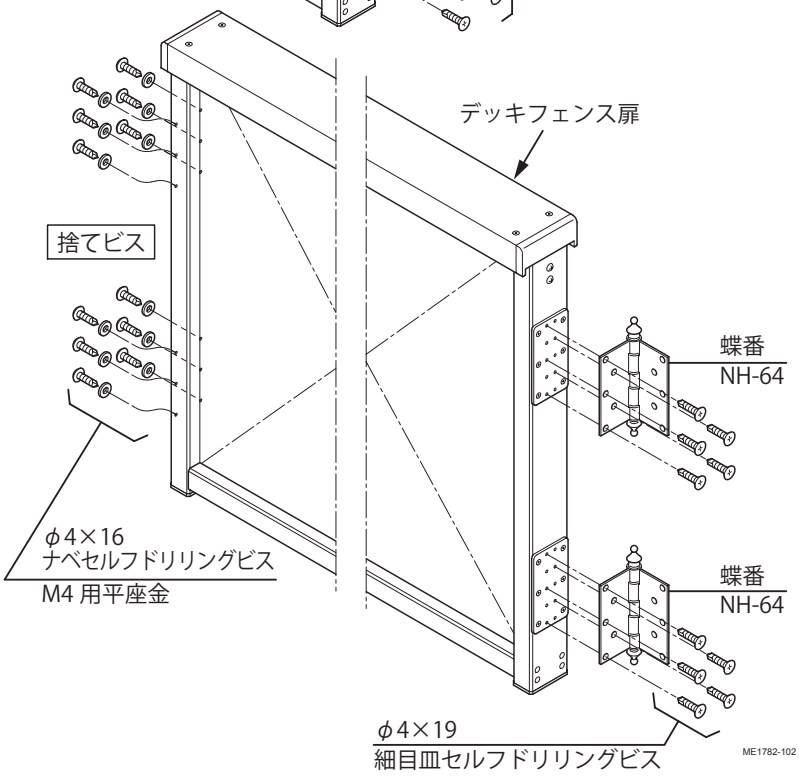


ME1782-101

②蝶番を丁番取付ブラケット (扉用) に取付けてください。

勝手・開きを変更する場合は、蝶番の取付け位置または向きを変更してください。

③使用しない取付孔に、捨てビスを取付けてください。



ME1782-102

4 扉の吊り込みと錠の取付け

●右勝手・内開きが標準仕様となります。
※イラストは、右勝手・内開きで示しています。

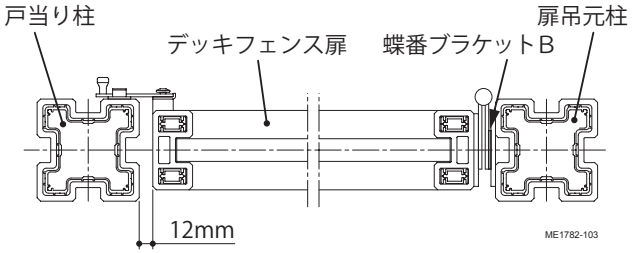
4－1 扉の吊り込み

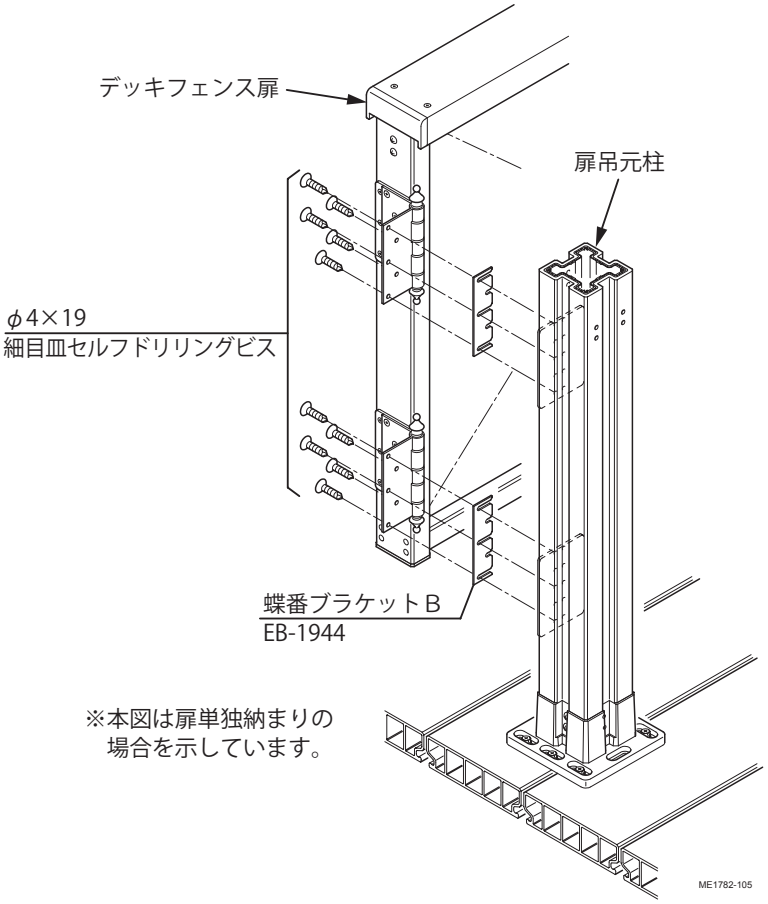
①扉に取付けられている蝶番を扉吊元柱に取付けてください。

②必要に応じて、蝶番ブラケット B を使用して、扉と戸当り柱のすき間を調整してください。

●蝶番ブラケット B：厚み 2mm
●扉と戸当り柱のすき間：12mm に調整

●すき間の調整





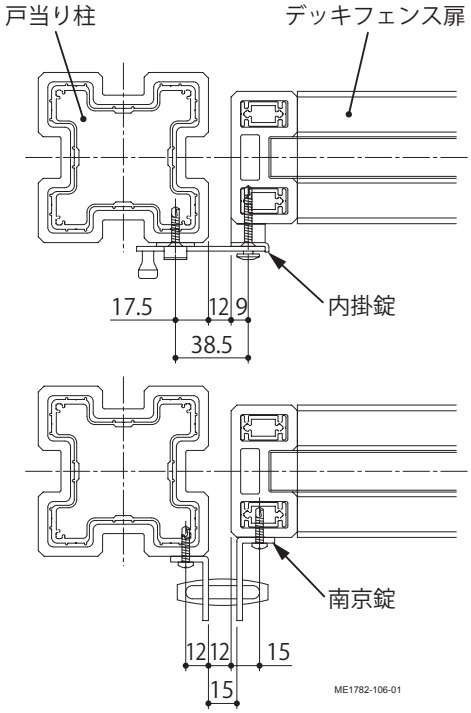
※本図は扉単独納まりの場合を示しています。

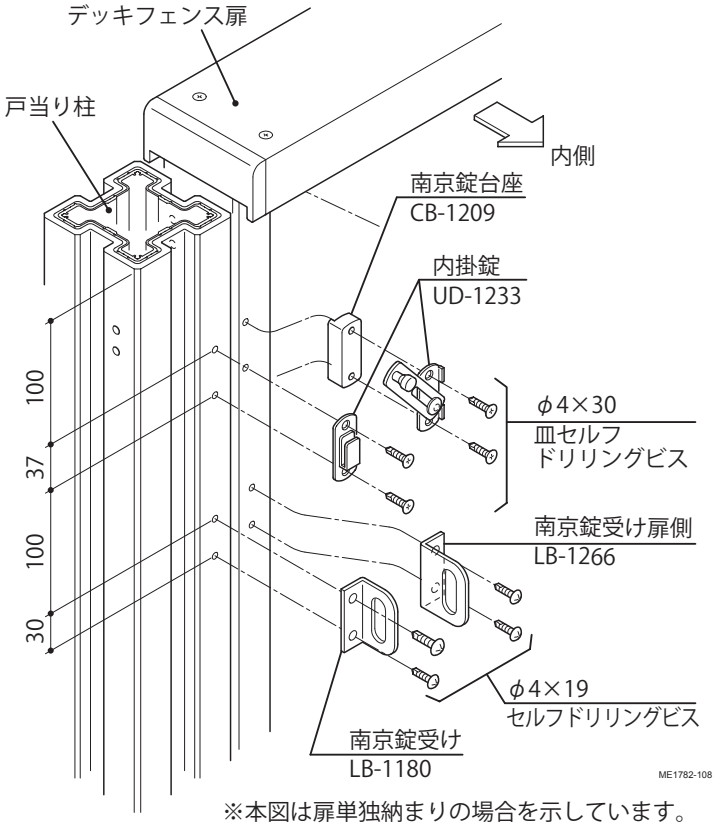
4－2 内掛錠・南京錠受けの取付け

①扉および戸当り柱にφ 3.5mm の下孔をあけてください。

②内掛錠と南京錠受けを、扉と戸当り柱に取付けてください。

●取付部詳細図





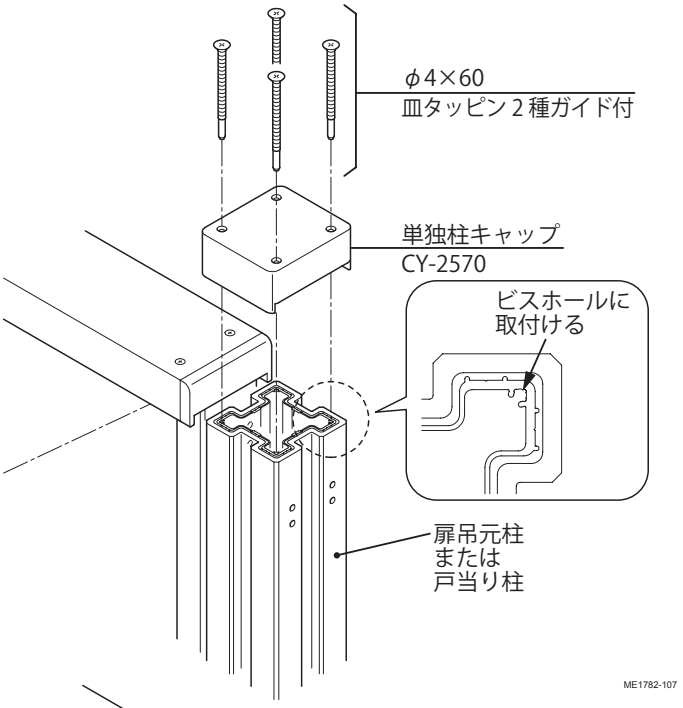
※本図は扉単独納まりの場合を示しています。

フェンス 90° 納まりの場合、内掛錠・南京錠受けの取付けは外側のみとなります。

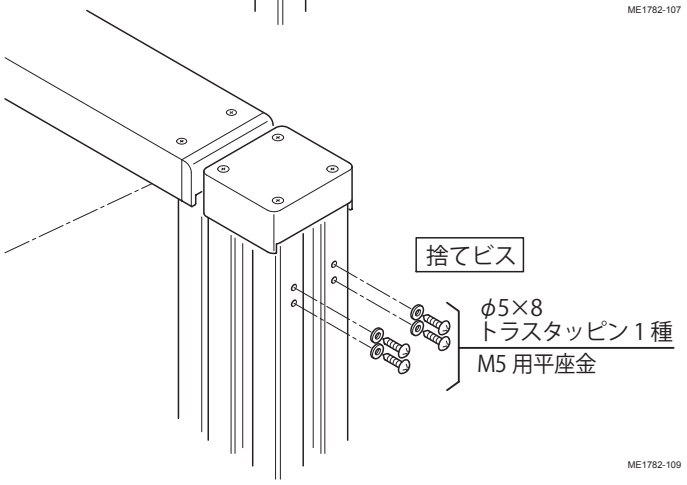
5 吊り込み後の作業

5－1 単独柱キャップの取付け（※扉単独納まりの場合）

①単独柱キャップを吊元門柱に取付けてください。



②使用していない取付け用孔に捨てビスを取付けてください。



■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　）　　-
販売店	TEL（　　）　　-

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。 お客様相談室 0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ http://www.lixil.co.jp